

PNND評議委員会

参加報告: 梅林宏道

日時：2007年10月12日

場所：9:00am PNND事務所において軽朝食

10:00am チャーチセンター会議室（UN プラザ 777）

15:00am ドイツ国連代表部に移動して電話会議

1 出席評議委員

ダグラス・ロウチ（暫定議長、MP I）

マリアン・ホップス（ニュージーランド）

アレクサ・マクドナフ（カナダ）

ジョナサン・グラノフ（米、G S I）

ウタ・ザプフ（ドイツ）電話会議

リン・アリソン（オーストラリア）電話会議

フランチェスコ・マルトーネ（イタリア）電話会議

デイビッド・コルタート（ジンバブエ）電話会議

代理：梅林宏道（河野太郎・末松義規の代理）（日本）

代理：スチン・ロドミル（ハルガイル・ランゲランドの代理）（ノルウェー）

代理：キム・クローバー（PNND 特別代表ロメオ・ダレールの代理）（カナダ）

2 主要な議題

1) グローバル評議委員（2007年－2008年）の承認

21名の議員の推薦があり、その通り承認した。

ただし日本の正副2名は11月の総会で変更があった場合、その2人を議長が承認する。

2) 共同代表の選出

グローバル・コーディネーターから以下の提案があった。これまでの接触の中から地域のバランスなどを考慮して考えたが、結果的にすべて女性の代表となったとの説明であった。本人の事前の了解が得られているとのことで、拍手でその通り選出した。

アレクサ・マクドナフ Alexa McDonough MP カナダ

アバカ・アンジャイン・マジソン Senator Abacca Anjain Maddison マーシャル
諸島

ウタ・ザプフ Uta Zapf MP ドイツ

マリアン・ホブbs Hon Marian Hobbs MP アオテアロアーニュージーランド

イ・ミギョン Mi-Kyung Lee MP 韓国

3) 名称の変更

ダグラス・ロウチ暫定議長からすでに送られていた提案理由にそって詳しく趣旨説明があった。出席者からは積極的な支持の発言があった。また連絡のあった会員の誰からも反対意見は出なかったという報告がなされた。日本からも「支持する」旨伝達した。提案通り承認された。

新名称：

PNND=Parliamentarians for Nuclear Non-proliferation and Disarmament

日本語（仮）＝核不拡散・核軍縮議員連盟（PNND 日本）

4) 資金、将来計画

ロウチ議長から2つの資金援助の可能性について説明があった。

そのうちの一つによって2008年7月11日、12日にPNNDグローバル会議をカナダのパグウォッシュで開催できる可能性が強い。

米印核取り引きについて米国の3下院議員が出した手紙の活用について積極的な意見交換があった。

――以上